

[今月の詩編]

第76篇

神はユダに御自らを示され

イスラエルに御名の大きいなることを示される。

悪いパン種に注意しなさい

主に敵対するその中心にはいつもファリサイ派の人たちがいました。主は、外側は綺麗で、内側は汚れに満ちている彼らの偽善を忌み嫌われました。その彼らがサドカイ派の人たちと一緒に来て「天からのしるしを見せてほしい」と求めたのです。主を試すためでした。しかも「しるし」を見せられたら、認めるか認めないかは悪しき彼ら自身が判断するとしていたのです。主はあまりにも自分たちへのわきまがない彼らに「この悪い、姦淫の時代の者たちはしるしを求めるが、ヨナのしるしのほかには与えられない」と答えられました。ヨナが三日三晩大魚の中にいたように、主ご自身が死んで墓に入り、三日目に復活されることが、彼らへの「しるし」であると言われたのです。天の父がキリストをよみがえらせるというのは、この方が教え、行ったすべてが正しかったとの天からの「しるし」です。それはこの方を反対し、殺したファリサイ派の人たちの教え、行いがすべて偽りものと裁かれ、彼らの罪が明らかにされる「しるし」でもあります。それでもその「しるし」を見て立ち返る人は生きるのですが、そうでなければ滅びる、それがヨナのしるしです。

主は弟子たちに「ファリサイ派とサドカイ派のパン種によく注意しなさい」と言われました。祭儀ではパン種を入れてはならないと命じられています。

「パン種」が象徴している霊的な意味は人の「腐敗」です。「ファリサイ派、サドカイ派のパン種」は、彼らの腐敗した教え、腐敗した有様を表しています。ルカの福音書では、「ファリサイ派のパン種に注意しなさい。それは偽善である」と、その腐敗した様子を具体的に「偽善」とも教えておられます。

彼らは愛を教えていました。しかし安息日そのものが重要で、祭儀そのものが重要で、手を洗うことなどが重要でした。それらにより、人を断罪し、裁いていたのです。彼らに愛はありませんでした。主に對しても「妬み、殺意、企み、毘、中傷、悪口、偽り、高ぶり」でした。外側は綺麗で、口先は立派



で、しかし内側は腐敗に満ちていたのです。そして、彼らが教師であったイスラエルには、彼らと同じ「偽善の実」が、パン種のように広まっていたのです。

このパン種は後の初代のエルサレム教会にも広まるのです。多くのファリサイ派の人たちも洗礼を受けてキリスト者になりました。彼らは依然として割礼を受けなければならない、食事の規定も、手を洗う習慣も、安息日の細かい規定も守り、異邦人と食事をしてはならないなどを主張し、しかも、異邦人の教会にもそういった外側のきよさを押し付けていたので、使徒パウロは激しく彼らと戦っていたのです。依然として外側のきよさに目を向けさせていながら、しかし内側には目を向けさせない、自分たちのみならず、人をも偽善に陥らせていたのです。

今は使徒たちが生きていた時代とは比べられないほど、多様な悪いパン種が人々を惑わしています。私たちも注意しなければなりません。そのために必要なのは「しるし」を見ることです。「十字架」がしるしです。ファリサイ派の人たちは愛を教え、恵みを語っていましたが口先だけで、「十字架」という実質がなかったのです。偽善でした。しかし、私たちはそのような人の教えに注意しつつ、では私には十字架が現れているのか、むしろ偽り、妬み、怒り、企み、悪口、人を裁いているのではないかと、自分のことだけを考えてはいないかと、常に十字架をしるしとして私自身を分別することが必要、重要です。自分の中に悪いパン種があるなら、その悪いパン種を捨てる、偽善を捨てる、この知恵に生きる人は、幸いです。小さなこの知恵に生きる人は自分のみならず、この時代を分別して生きる人です。主はその者をますます非のうちどころのない者としてくださいます。ファリサイ派、サドカイ派の人たちは、そのわきまがなく、知恵がなかったのです。

《 今日の礼拝 》

2021年10月17日(日)

一回礼拝(9:30より)

司 式 石川 一 兄

聖餐司式 黄 允湜 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

○ 前 奏 「我は汝に望みをおきたり」 J.S.バッハ

○ 讃 美 76番(1、4番)

○ 十 戒

○ 告白の祈り

○ 奉 献 頌

○ 使徒信条

○ 牧会の祈り

○ 主の祈り

○ 聖書朗読 マルコ3章7～12節(新約P.65)

○ 説 教 「小舟を用意してほしい」

菊池 美穂子 副牧師

○ 讃美歌 354番(1、4番)

○ 聖 餐 「ソナタ第1番より「第2楽章」」

P.ヒンデミット

○ 報 告

○ 頌 栄

○ 派遣の言葉

○ 祝 福

○ 後 奏 「試みの世にあれど」 D.ワグネル

《 今日のお知らせ 》

○今日の午後1時より定例役員会をリモートにて開催します。役員の方はどうぞご参加ください。

○11月13日(土)に行われる墓苑礼拝に参加をご希望される方は、10月31日(日)までに事務所へご連絡ください。

○10月31日まで9時半からの一回礼拝です。教会としても、段階的な行動緩和をしつつ、安心して礼拝にご参加いただけますように心を配りたいと考えておりますので、引き続きインターネットを通しての礼拝参加もお願い致します。

《 教会学校礼拝 》

● 10月17日(日) 朝9時～HPにて配信

タイトル 「獅子の洞窟へ」

聖 書 ダニエル書6章19～25節

メッセージ 宮間 彰広 兄



《 次週の礼拝 》

一回礼拝(午前9時30分)

讃美歌 77番 198番

説 教 「真のいのちの道」

聖 書 マタイ16章13～28節

説教者 黄 允湜 牧師

